

WILCOMM

ウィルメール（補足）

（PC 文書の添付）

MAL004 (Last Update : 2007/5/29)

WilComm AS400 V8.03

© Copyright 2000

K.I.S.S. Inc.



本解説書は、あるOUTQに投入されたスプールデータをメール送信する際に、予め指定されたユーザー指定のファイル（PC文書）を、スプールデータと共にメール添付し、送信する方法を解説しています。

注意：対象バージョンはWilComm Ver8.03 & WilComm4です。

目 次

1. 添付ファイル・リストの作成	3 頁
2. OUTQインターセプターの設定	6 頁
3. ディストリビューションウィザードの設定の注意	8 頁

1. 添付ファイル・リストの作成

スプールデータをメール送信する際に、一緒に添付するユーザー指定文書（P C ファイル文書）リストの作成を行います。

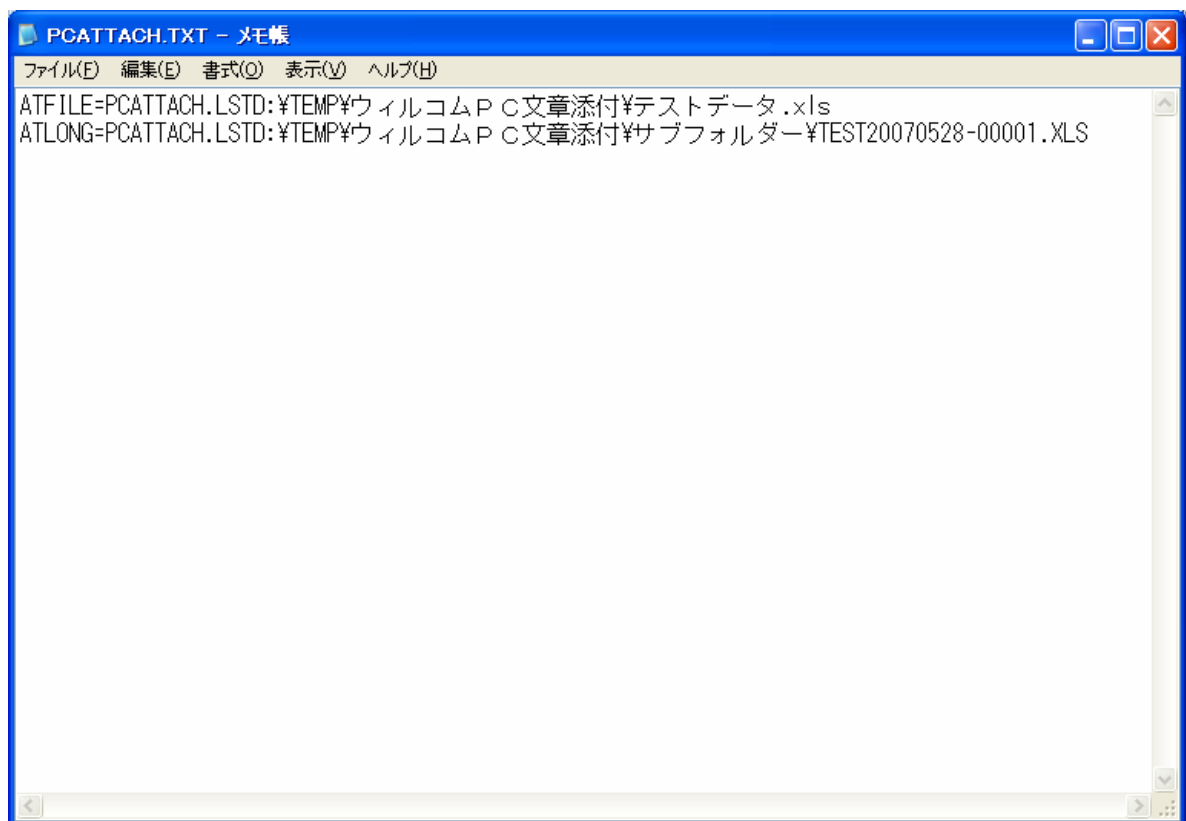
①メモ帳などで、添付するファイルのリストを作成します。

※作成するファイル名は、拡張子を含めて12文字以内で指定して下さい。

【作成例：ファイル名（P C A T T A C H . T X T）】

下記例は、添付ファイルが2つある場合となっています。

添付するファイルの数だけ行を作成します。



<作成方法>

a. 行の先頭は以下のフレーズで始まります。

- ・パス+添付ファイル名の長さが60桁以内の場合

ATFILE=XXXXXXXX.LST

作成したファイル名（拡張子を除く）を指定します。本例では「PCATTACH」です。

- ・パス+添付ファイル名の長さが60桁を超える場合

ATLONG=XXXXXXXX.LST

作成したファイル名（拡張子を除く）を指定します。本例では「PCATTACH」です。

b. 20桁目から、添付するファイル（PC文書）のパスを含めて指定します。

**制限事項：パス、ファイル名の指定は20桁目～119桁目までです。
最長で100桁以内です。**

以上で、添付するファイルのリストの作成は終了です。

②上記①で作成された添付するファイルのリストのファイル名を変更します。

上記①で作成されたファイル名：PCATTACH.TXT

↓ [拡張子をLSTに変更します]

変更後ファイル名：PCATTACH.LST

このファイル名が上記①のa.で指定されるファイル名になります

③上記②で名前の変更したファイル（例：P C A T T A C H . L S T）を
WilComm が導入させている PC Server に接続されている
フォルダー “W I L K I N S O N”（標準：ネットワークドライブ：I に
接続されている W I L K I N S O N フォルダー）の中にある
フォルダー「A T T A C H」にコピーします。

以上で、PC Server 側での作業は終了です。

2. OUTQ インターセプターの設定

WilComm に設定する Mail 送信用の OUTQ (サービスコードが “WM”) の設定に、一緒に添付するユーザー指定文書 (P C ファイル文書) リストを定義します。

※OUTQ の設定 (サブスクライバー、スペシフィックコード) 詳細は
マニュアル「Training Manual Lesson-3 (iSeries 設定の基礎)」(TRN043)
を参照して下さい。

- ①サブスクライバーのサービスコードの設定と一緒に添付するユーザー指定文書 (P C ファイル文書) リストを定義します。

KOIDE		WILCOMM - 宛先 メンテナンス (更新)		9:08AM 7/05/29	
サブスクライバー: TEST					
シーケンス: 10					
サービス: WM					
EMAIL - THE "WILMAIL" SERVICE					
- VIA WILCOMM					
パラメータ 記述			パラメータ 値		
E-MAIL ADDRESS (BEFORE THE @)			DUMMY		
(CONT.)			(オプション)		
DOMAIN NAME @			WILKINSON.COM.AU		
(CONT.) (WILCOMM INSERTS "@")			(オプション)		
SEND AS IMG: SW /FRMT /F3 FORM			(オプション)		
SUBJ & MSG TEXT PHRASE, PHRASE			(オプション)		
RESVD. ATTACHED FILES LIST			PCATTACH.LST		
RESVD. SENT: DATE AND TIME . .			(オプション)		
RESVD. SUBJECT LINE			(オプション)		
RESVD. FROM			(オプション)		
ノート: _____					
F3= 終了 F12= 取消					

「リザーブ添付ファイル・リスト」に作成した、リストファイルを指定します。(例: 上記1で作成したATTACH. LST)

設定は以上です。WilComm の監視ジョブを再起動します。

制限事項：リザーブ添付ファイル・リストが設定されている
サブスクライバーを持つ OUTQ（スペシフィックコード）
に投入された、スプールデータには必ず、P C 文書が
添付されます。



P C 文書を添付するスプールファイルの送信と添付
しないスプールファイルの送信とで、O U T Q を
別ける必要があります。

注意 1 : リザーブ添付ファイル・リストに定義されたファイル
（P C 文書）が指定フォルダーに存在しない場合、
送信結果はエラーとなります。

3. ディストリビューションウィザードの設定の注意

ディストリビューションウィザードの一覧にて処理該当セクションの
「ホストで指定されたアドレスを無視」が“YES”になっているようで
あれば、この箇所を“NO”に変更する必要があります。

